

馬淵川水系河川事業の進捗状況 【指定区間：八戸圏域】

平成22年11月24日

青 森 県

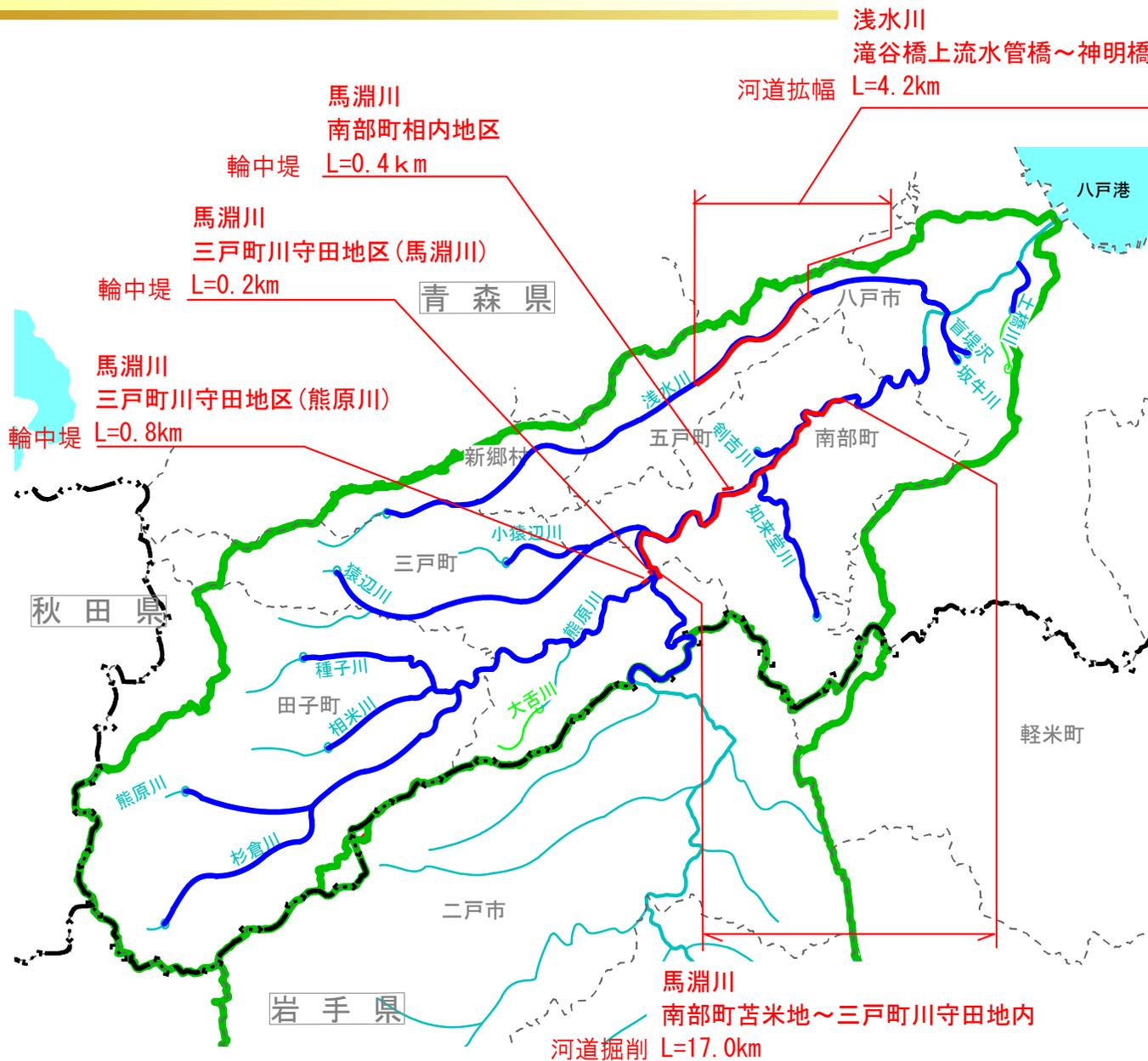
目次

・はじめに	・・・・・・・・	1
・馬淵川水系河川改修事業位置図	・・・・・・・・	2
・馬淵川水系河川改修事業の目標	・・・・・・・・	3
・平成22年度実施状況（馬淵川、浅水川）	・・・・	4
・土橋川床上浸水対策特別緊急事業の効果	・・・・	7

馬淵川水系河川整備計画（指定区間：八戸圏域）は、平成21年8月6日開催した「第5回馬淵川水系河川整備学識者懇談会」後、市町村長等の関係機関意見照会及び協議を経て、平成22年6月11日に策定となりました。

今後、この河川整備計画の内容を踏まえ、安全で安心でき、うるおいのある美しい川づくりと、流域の風土と文化等を生かした河川整備を行って行きます。

馬淵川水系河川改修事業位置図



・馬淵川水系河川改修事業の目標

- 馬淵川：・平成16年9月洪水及び平成18年10月洪水で浸水した宅地に対する浸水被害を防止する。
(輪中堤整備)
- ・20年に1度発生する洪水に対して宅地の浸水被害を防止し、大規模な農地についても、冠水頻度を軽減し浸水被害の軽減を図る。
(河道掘削)
- 浅水川：・平成11年10月に発生した洪水と同規模の洪水が発生しても、外水のはん濫による浸水被害を防止する。
(河道拡幅)



熊原川 三戸町川守田地区



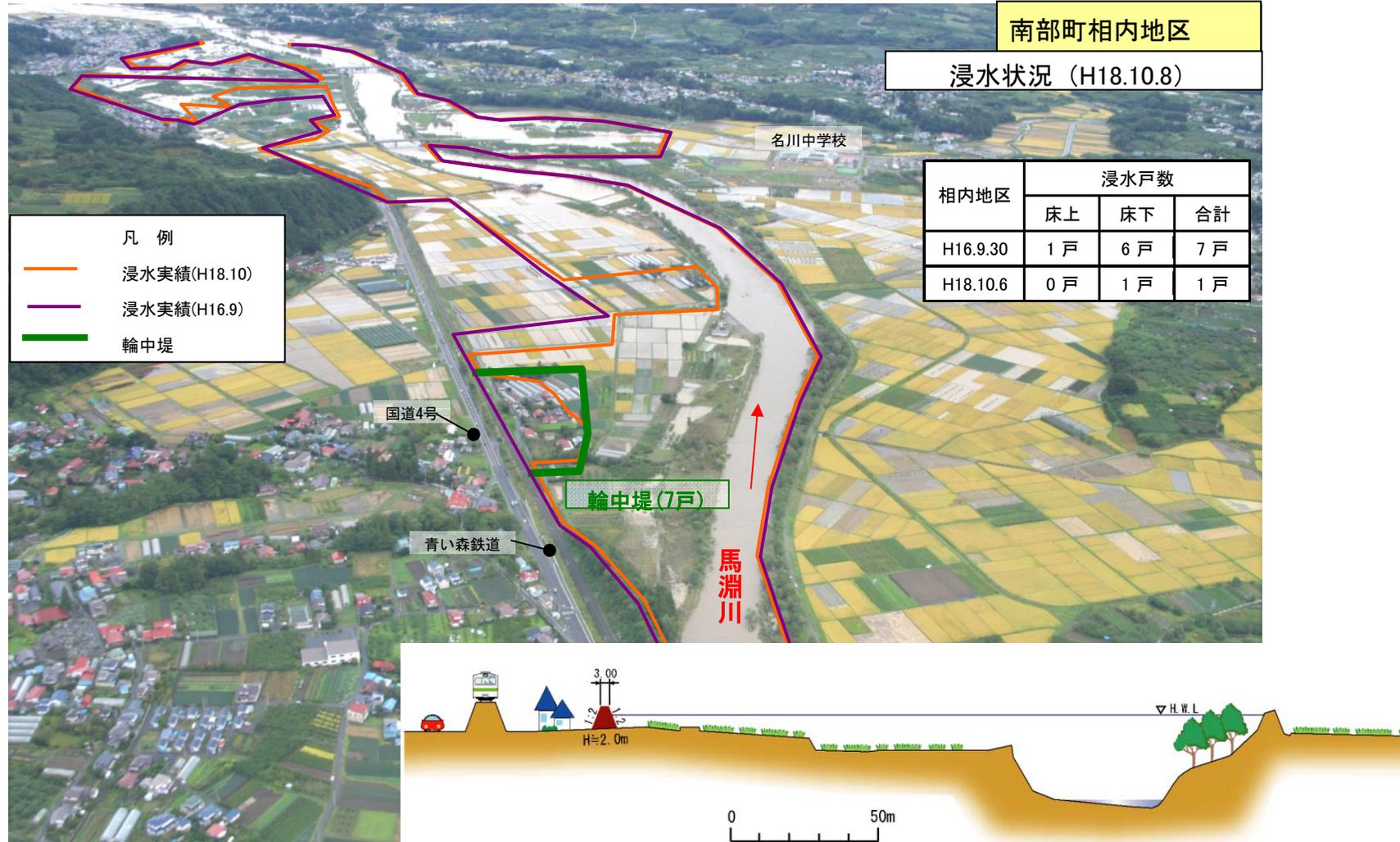
馬淵川 南部町虎渡地区



浅水川 八戸市三條目地区

南部町相内地区では、平成16年9月洪水で7戸、平成18年10月洪水で1戸の浸水被害がありました。

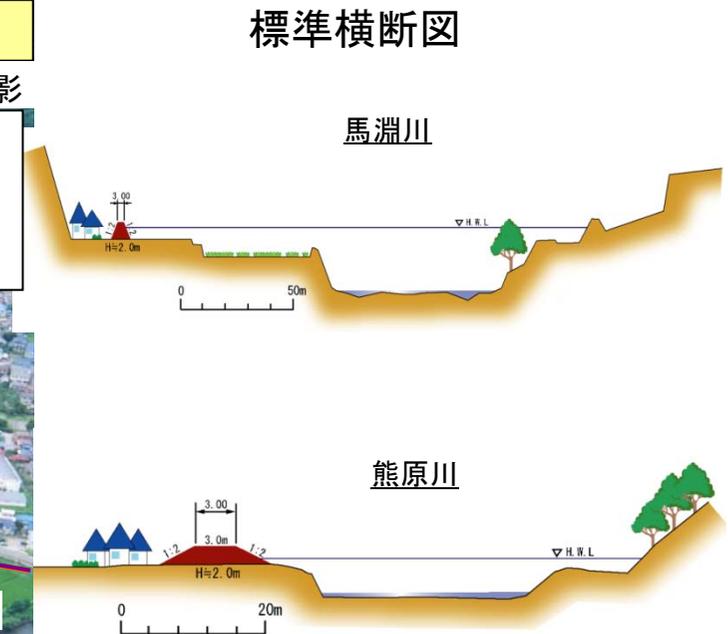
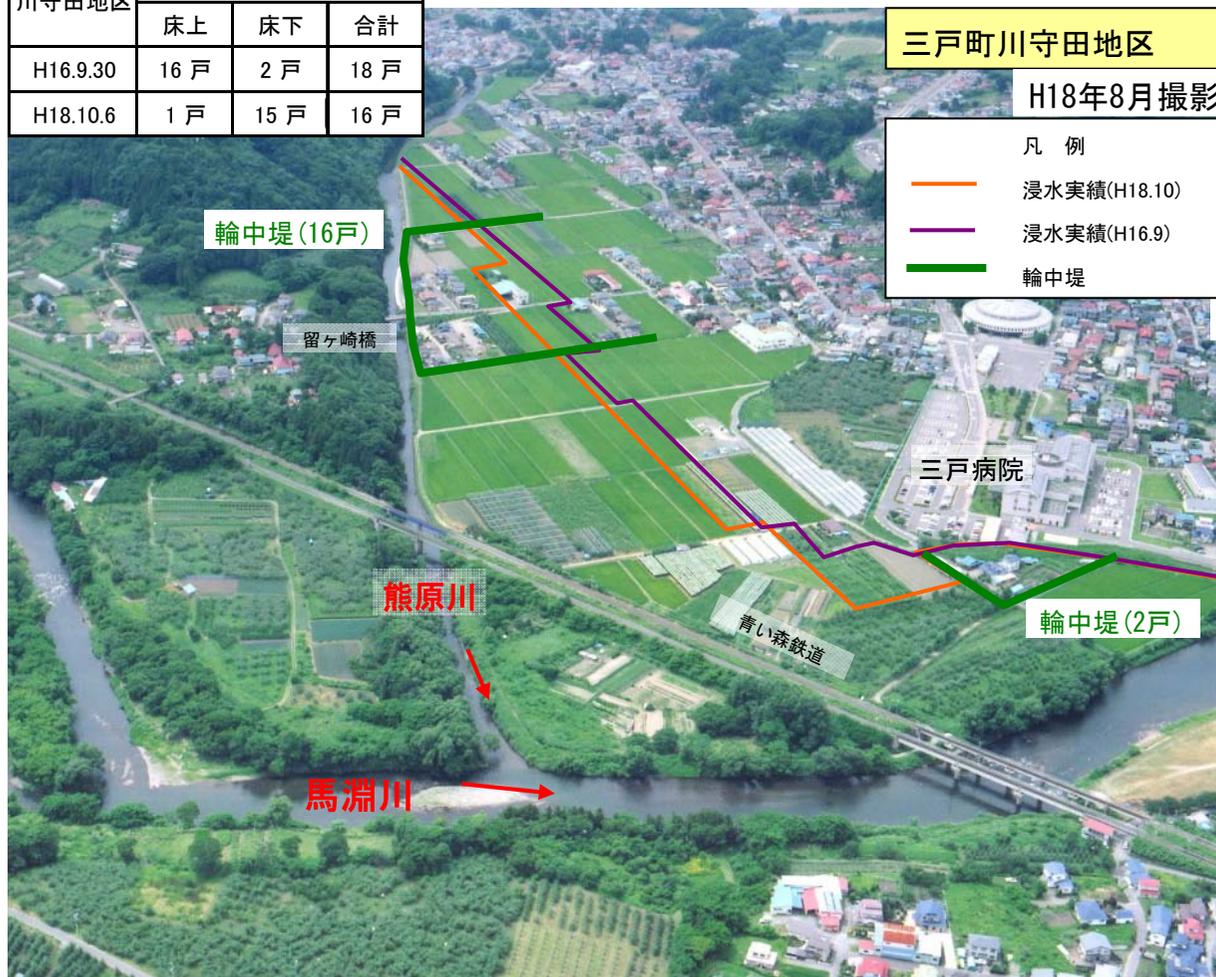
この浸水被害の防止を目的とした輪中堤について、今年度の完了を目標としています。



三戸町川守田地区では、平成16年9月洪水で18戸、平成18年10月洪水で16戸の浸水被害がありました。

この浸水被害の防止を目的とした輪中堤について、今年度着工を目標としています。

川守田地区	浸水戸数		
	床上	床下	合計
H16.9.30	16戸	2戸	18戸
H18.10.6	1戸	15戸	16戸

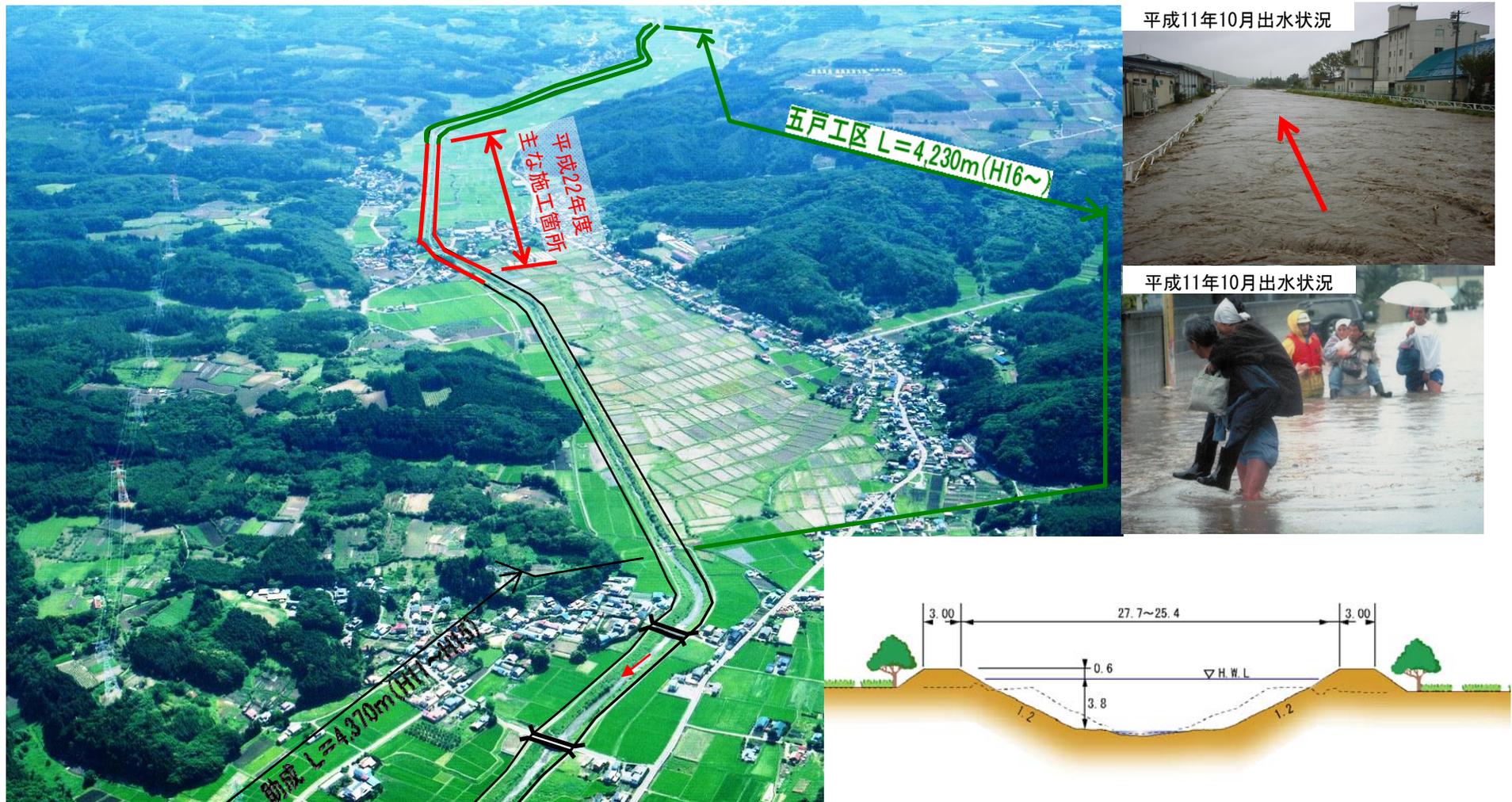


留ヶ崎橋より熊原川下流望む

浅水川は、平成11年10月の洪水を契機に重点的な河川改修を実施し、馬淵川合流点から約7.2km地点まで平成15年度に完了しました。翌平成16年度からその上流約4.2kmに着手しているところです。

平成22年度の実施状況としては、五戸町大字豊間内地内において、河道拡幅を実施しています。

また、浅水川の河川事業については、平成28年度の事業完了を目標としています。



土橋川の河川改修事業に関しては、平成15年10月に策定した馬淵川水系河川整備計画（当初計画）に盛り込まれ、平成21年度に事業が完了したことから、事業効果について取りまとめました。

土橋川では、平成11年10月豪雨により床上・床下浸水160戸、平成13年9月台風15号により床上・床下浸水44戸の浸水被害が発生しているなど、早急な治水対策が求められていました。

このため、国、県、市が一体となって治水計画を検討し、平成15年度から土橋川床上浸水対策特別緊急事業に着手し、放水路等の整備をすすめ平成21年度に完了しました。

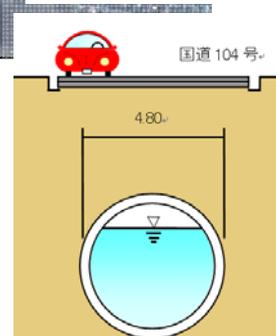


平成11年10月出水状況



平成13年9月出水状況

整備イメージ（売市地区）



整備後H20.3.9トンネルウォークの状況



土橋川では、平成21年7月の放水路供用開始以来、これまで4回の洪水分流を行いました。

大規模な洪水ではありませんが、これまで幾度となく浸水被害を受けてきた八戸市売市地区住民の不安解消に大きく貢献しています。

施設のメカニズム

平常時には放水路トンネルに水が入らず、全量が土橋川下流へ流れます。

洪水時には、水位を感知して、自動的にゲートを閉鎖し、放水路トンネルに水を流します。

洪水分流の実績

年月日	水位	越流水深	放流量
	(TP.m)	(m)	(m ³ /s)
H21.8.13	11.20	0.25	5
H21.10.8	11.25	0.30	6
H22.6.20	11.20	0.25	5
H22.6.21	11.20	0.25	5

洪水時の流量配分図

